

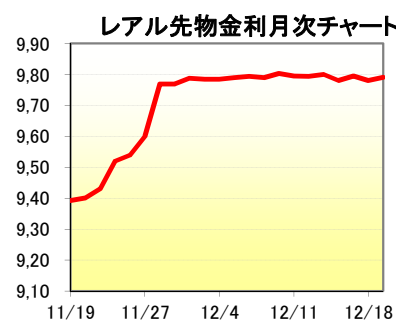
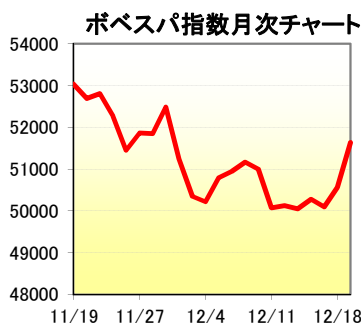
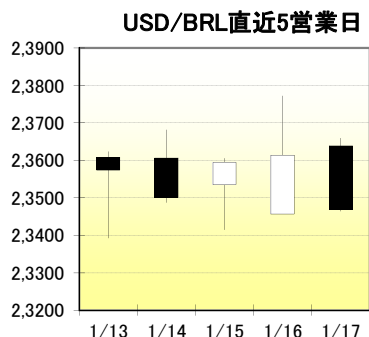
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			1月13日	1月14日	1月15日	1月16日	1月17日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,3540	2,3550	2,3540	2,3620	2,3470	-0,0150
	USD/YEN	Spot	102,90	104,13	104,65	104,28	104,31	+0,0300
	EUR/USD	Spot	1,3666	1,3669	1,3683	1,3615	1,3615	u,c,
	BRL/YEN	Spot	43,66	44,29	44,38	44,17	44,48	+0,3100
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,36	1,41	1,36	1,47	1,51	+0,0429
		1Year(p.a.)	1,71	1,78	1,77	1,84	1,86	+0,0203
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,47	10,50	10,49	10,69	10,77	+0,0784
		1Year(p.a.)	10,71	10,79	10,76	10,98	10,97	-0,0100
Stock	Bovespa		49.427	49.703	50.105	49.696	49.182	-514,42
Bond	CDS Brazil 5y		194,66	196,78	197,83	195,34	200,15	+4,8120
	Global 40		113,750	113,825	113,825	113,825	113,800	-0,0250

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
IGP-M Inflation 2nd Preview	0.48%	0.46%	0.54%	なし
経済活動(前月比)	0.10%	-0.31%	0.71%	
経済活動(前年比)	1.90%	1.34%	2.74%	
CNI設備稼働率(季調済)	82.1%	82.0%	82.2%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$2. 3640 で寄り付いた。
- 週初のレアルは PTAX 決定に向けてのドル売り需要が強くレアルはじりじりと上昇、週間高値となる US\$1=R\$2. 3390 を付けたが、ドル売り需要が落ち着くとレアルは寄り付き水準まで売り戻される展開となった。
- 翌 14 日には大口の資金流入の噂が聞かれたほか、12 月の米小売売上高（速報値）は季節調整済みで前月比 0.2%増加した一方、前月は速報値の 0.7%増から 0.4%増に下方修正されたことからドル売りが見られ、レアルは 2.3500 まで買い戻された。
- 週央にかけて大口の資金流入の噂からレアル買いが優勢となるも、米ニューヨーク連銀が発表した 1 月の同地区の製造業景況指数がエコノミスト予想を大きく上回ったことからドル買いが見られると、レアルは 2.35 台前半まで反落した。尚、同日夕刻にはブラジル中銀による 6 会合連続となる 0.50%の利上げが発表され、ブラジルの政策金利（SELIC）は市場予想に反して 10.50%となった。
- 翌 16 日には SELIC 利上げを受けて市場ではレアル売りが強まり、レアルは週間安値となる US\$1=R\$2. 3770 を付けたが 2.35 台後半まで反発する場面も見られた。
- 週末にかけては PTAX 決定に向けてのドル買い需要が強くレアルは 2.36 台後半まで売られたが、PTAX が決定されてからレアルは反発、結局 US\$1=R\$2. 3470 で越えた。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
1/20	FIPE CPI-週次	jan/15	0.68%	0.74%
1/20	貿易収支(週次)	jan/19	--	-\$574M
1/20	税収	Dec	116000M	112517M
1/20	登録雇用創出合計	Dec	-473000	47486
1/22	CNI産業信頼感	Jan	--	54.3
1/23	FGV CPI IPC-S	jan/22	0.91%	0.85%
1/23	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Jan	0.80%	0.75%
1/23	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Jan	5.76%	5.85%
1/24	FGV消費者信頼感	Jan	--	111.5
1/24	経常収支	Dec	-\$7199M	-\$5145M
1/24	対内直接投資	Dec	\$5487M	\$8334M

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.33-2.43

今週のレアル相場は資金流入で大きくサポートされた一方、ブラジルの政策金利（SELIC）は市場予想の 0.25%の利上げに対して 0.50%の利上げとなったことからレアル売りも見られた。また、ブラジル企業や開発銀行（BNDES）による海外での資金調達で予想を大きく超える需要が見られたことからブラジルのファンダメンタルズが良好ではないシナリオでも同国への投資需要はまだ強いと市場では好感された。来週は 20 日が米国祝日で市場が休場となるためレアルの流動性は通常時より低下することが予想されるほか、重要な経済指標の発表は国内外で限定的であることから低い流動性に高いボラティリティーが予想され、注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department